

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	京都保健衛生専門学校
設置者名	学校法人 京都保健衛生専門学校

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門課程	看護学科三年課程	夜・通信	87 単位 2,595 時間	9 単位 240 時間	
医療専門課程	第一臨床検査学科	夜・通信	96 単位 2,918 時間	9 単位 240 時間	
	第二臨床検査学科	夜・通信	81 単位 2,281 時間	7 単位 180 時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

一覧表を作成し、申請により閲覧可能

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	京都保健衛生専門学校
設置者名	学校法人 京都保健衛生専門学校

1. 理事（役員）名簿の公表方法

一覧表を作成し、申請により閲覧可能

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	富田病院理事長 京都博愛会病院理事長	2019年3月5日～ 2021年3月4日	学校法人の業務を決し、業務遂行の監督を行う。 学校経営に対する職務を行う。
非常勤	京都リハビリテーション病院理事長	2019年3月5日～ 2021年3月4日	学校法人の業務を決し、業務遂行の監督を行う。 学校経営に対する職務を行う。
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	京都保健衛生専門学校
設置者名	学校法人 京都保健衛生専門学校

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>授業計画については、継続して行っていることの良い点、改善すべき点を前年度中に学科会議で話し合った上で、担当科目教員と非常勤講師との意見交換を行い、その後学科会議で検討しシラバスを作成する。参考資料は科目試験、科目模擬試験、学生からの授業アンケート、学生の技術到達点などである。</p> <p>授業計画書の作成・公表 作成：前年度末 公表：年度初め 公表の方法 学生へ配布 学校ホームページへ掲載（方法検討中）</p>	
授業計画書の公表方法	別冊を作成し、申請により閲覧可能
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>1. 授業科目の履修評価を受けるには、授業時間数の3分の2以上の出席を必要とする。</p> <p>2. 履修の評価は試験により行う。</p> <p>3. 履修評価による成績は、優、良、可及び不可とし、優、良、可は合格、不可は不合格とする。</p> <p>4. 履修評価は合格した者に対して所定の単位を与える。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>GPAを利用し、今後各学生の成績を管理する。 現時点では全ての成績を入力し、個人の成績を平均して、順位をつけている。</p>	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p>書類を作成し、申請により閲覧可能</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>学校長は看護学科三年課程及び第一臨床検査学科は3年間、第二臨床検査学科は4年間在籍し、各学科所定の授業科目を履修し、単位を取得した者に対して卒業の認定をする。ただし、所定の授業日数の3分の1を超える欠席をした者の卒業は認めない。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>書類を作成し、申請により閲覧可能</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	京都保健衛生専門学校
設置者名	学校法人 京都保健衛生専門学校

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	書類を作成し、申請により閲覧可能
収支計算書又は損益計算書	書類を作成し、申請により閲覧可能
財産目録	書類を作成し、申請により閲覧可能
事業報告書	ホームページでの公開と書類を作成し、申請により閲覧可能
監事による監査報告（書）	書類を作成し、申請により閲覧可能

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	看護学科三年課程	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	104 単位(3000 時間) 単位時間/単位	1515 単位時間 /63 単位	450 単位時 間/18 単位	1035 単位時 間/23 単位	単位時 間/単位	単位時間 /単位
			3,000 単位時間/104 単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員 数	総教員数	
120 人		124 人	0 人	14 人	15 人	29 人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） 体験型・探求型学習を取り入れ、まずはやってみる中で、自ら問いを立てながら学んでいけるような方法を取っている。 カリキュラムの進度は、単純から複雑へ、基礎から応用へと段階的に進めている。 実習は1年生に基礎看護学実習Ⅰ・Ⅱ、2年生は成人看護学実習Ⅰと老年看護学実習Ⅰ、3年生は臨地実習として全ての科目の実習が5月から11月まであり、最後に統合実習として夜間実習も組まれます。
成績評価の基準・方法
（概要） 1. 授業科目の履修評価を受けるには、各科目授業時間数の3分の2以上の出席を必要とする。 2. 履修の評価は試験により行う。 3. 履修評価による成績は、優、良、可及び不可とし、優、良、可を合格、不可は不合格とする。 4. 履修評価に合格した者に対し所定の単位を与える。

卒業・進級の認定基準
<p>(概要) <卒業> 学校長は看護学科三年課程及び第一臨床検査学科は3年間、第二臨床検査学科は4年間在籍し、各学科所定の授業科目を履修し、単位を取得した者に対して卒業を認定する。ただし、所定の授業日数の3分の1を超える欠席をした者の卒業は認めない。</p> <p><進級> 所定の授業日数の3分の1を超える欠席をした者の進級は認めない。各学年の所定の単位を履修した者は、進級を認める。</p>
学修支援等
<p>(概要) 各学科とも担任制度である。担任は複数で担当し、偏りがないようにしている。学生からの修学の相談等は随時受けている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
30人 (100%)	0人 (0%)	30人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 病院			
(就職指導内容) 卒業前に卒業演習を行い、知識・技術等の確認を行う。			
(主な学修成果(資格・検定等)) 看護師			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
125人	11人	8.8%
(中途退学の主な理由) 成績不良、進路変更、精神的な理由により退学		
(中退防止・中退者支援のための取組) 各クラス担任制をとり、学生の状況を常に把握、また複数の教員により学生からの状況を聞き取るようにしている。		

①学科等の情報

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士	
医療	医療専門課程	第一臨床検査学科	○		
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類		
			講義	演習	実習

3年	昼	105 単位 (3120 時間) 単位時間/単位		1981 単位時間/75 単位	96 単位時間/6 単位	1509 単位時間/37 単位	単位時間/単位	単位時間/単位
		3,586 単位時間/118 単位						
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
120 人		105 人	0 人	12(兼務)人	10 人	22 人		

カリキュラム (授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 本学科では、学生各自に i p a d を支給し、これにより講義や実習の授業資料閲覧や記録を行っている。1 年生では理科系基礎科目のリメディアル教育を実施し、高校等での学習の不足のある学生をフォローしている。臨地実習は 1 年生後期に病院検査室で 1 週間の心電図実習を行う。2 年生後期に病院、検査センター、健診センターで合計 15 週間の実習を行う。3 年生では知識のまとめと国家試験対策授業を重点的に実施し、国家試験合格へと導く。
成績評価の基準・方法
(概要) 1. 授業科目の履修評価を受けるには、各科目授業時間数の 3 分の 2 以上の出席を必要とする。 2. 履修の評価は試験により行う。 3. 履修評価による成績は、優、良、可及び不可とし、優、良、可を合格、不可は不合格とする。 4. 履修評価に合格した者に対し所定の単位を与える。
卒業・進級の認定基準
(概要) <卒業> 学校長は看護学科三年課程及び第一臨床検査学科は 3 年間、第二臨床検査学科は 4 年間在籍し、各学科所定の授業科目を履修し、単位を取得した者に対して卒業を認定する。ただし、所定の授業日数の 3 分の 1 を超える欠席をした者の卒業は認めない。 <進級> 所定の授業日数の 3 分の 1 を超える欠席をした者の進級は認めない。 各学年の所定の単位を履修した者は、進級を認める。
学修支援等
(概要) 各学科とも担任制度である。担任は複数で担当し、偏りがないようにしている。学生からの修学の相談等は随時受けている。

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
39 人 (100%)	7 人 (17.9%)	29 人 (74.4%)	3 人 (7.7%)
(主な就職、業界等) 病院、衛生検査所、健診センター			
(就職指導内容) 就職指導については、専任の教員を配置し、随時相談を受け付けている。また、希望施設の見学等を実施し、納得した形で就職先を決めている。			

(主な学修成果(資格・検定等)) 臨床検査技師
(備考) (任意記載事項)

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
117人	12人	10.3%
(中途退学の主な理由) 成績不良、進路変更、精神的な理由により退学		
(中退防止・中退者支援のための取組) 各クラス担任制をとり、学生の状況を常に把握、また複数の教員により学生からの状況を聞き取るようにしている。		

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
医療		医療専門課程	第二臨床検査学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	夜	104単位(2820時間) 単位時間/単位	1582単位時間 /66単位	123単位時 間/5単位	1168単位時 間/33単位	単位時 間/単位	単位時間 /単位
			2,873単位時間/104単位				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員 数	総教員数		
160人	109人	0人	12(兼務)人	26人	38人		

カリキュラム(授業方法及び内容、年間の授業計画)
(概要) 本学科では、学生各自がi p a dを準備し、これにより講義や実習の授業資料閲覧や記録を行っている。入学当初から生活の安定を図るため、担任と面談を行い必要に応じて医療系アルバイトを紹介する。臨地実習は2年生後期では病院検査室で1週間の心電図実習を行う。4年生前期に病院検査室で11週間の実習を行う。4年生では知識のまとめと国家試験対策授業を重点的に実施し国家試験合格へと導く。
成績評価の基準・方法
(概要) 1. 授業科目の履修評価を受けるには、各科目授業時間数の3分の2以上の出席を必要とする。 2. 履修の評価は試験により行う。 3. 履修評価による成績は、優、良、可及び不可とし、優、良、可を合格、不可は不合格とする。 4. 履修評価に合格した者に対し所定の単位を与える。
卒業・進級の認定基準

<p>(概要) <卒業> 学校長は看護学科三年課程及び第一臨床検査学科は3年間、第二臨床検査学科は4年間在籍し、各学科所定の授業科目を履修し、単位を取得した者に対して卒業を認定する。ただし、所定の授業日数の3分の1を超える欠席をした者の卒業は認めない。</p> <p><進級> 所定の授業日数の3分の1を超える欠席をした者の進級は認めない。各学年の所定の単位を履修した者は、進級を認める。</p>
学修支援等
<p>(概要) 各学科とも担任制度である。担任は複数で担当し、偏りがないようにしている。学生からの修学の相談等は随時受けている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
31人 (100%)	1人 (3.2%)	24人 (77.4%)	6人 (19.4%)
(主な就職、業界等) 病院、衛生検査所、健診センター			
(就職指導内容) 就職指導については、専任の教員を配置し、随時相談を受け付けている。また、希望施設の見学等を実施し、納得した形で就職先を決めている。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 臨床検査技師			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
122人	5人	4.1%
(中途退学の主な理由) 成績不良、進路変更、精神的な理由により退学		
(中退防止・中退者支援のための取組) 各クラス担任制をとり、学生の状況を常に把握、また複数の教員により学生からの状況を聞き取るようにしている。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
看護学科 三年課程	300,000 円	600,000 円	100,000 円	
第一臨床 検査学科	300,000 円	700,000 円	400,000 円	
第二臨床 検査学科	300,000 円	400,000 円	300,000 円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法		
書類を作成し、申請により閲覧可能 ホームページによる公開は検討中		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
<p>学校運営や学生の動向、教育の進め方などを知らせるために毎月の校務運営会議の議事録を送付する。それによって学校運営、教育活動、学生の修学の成果、学生の修学支援や就職活動支援、入学試験状況並びに地域への貢献、そして教職員の研修など勤務体制などについて評価する。また、財務状況については中間決算及び年度末決算について理事会の議事録をもって報告し、評価をする。</p> <p>学校関係者評価委員は7人から11人以内で構成されており、学識経験者、卒業生、保護者などである。現在は、学識経験者は司法書士、税理士、卒業生は各学科から1人ずつ、保護者は2人である。</p> <p>今後学校関係者評価を使い、業務の改善点などがある場合は、学校長、学科担当理事、教務部長、事務局長がメンバーである校務運営会議で検討の上、学科会議にも下ろし改善方法を決めていく。またこの校務運営会議の議事録をもって各関係者に改善方法等を知らせる。</p>		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
高井司法書士事務所	2019年8月1日～ 2021年3月31日	学識経験者 (司法書士)
A t a G O 社会保険労務士事務所	2019年8月1日～ 2021年3月31日	学識経験者 (税理士)
西陣病院	2019年8月1日～ 2021年3月31日	卒業生
がれりあ亀岡ディサービスセンター	2019年8月1日～ 2021年3月31日	保護者
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)		
www.kyohosen.ac.jp/outline/assessment.html 2020年度から評価を確実に公表する。		

第三者による学校評価（任意記載事項）

c) 当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）

www.kyohosen.ac.jp